

教育新聞

発行所 教育新聞社
 〒110-0005
 東京都台東区上野3-17-7
 代表 電話 03 (3832) 3 5 7 1
 FAX 03 (3832) 3 5 7 0
 URL <http://www.kyobun.co.jp>
 E-mail kyoiku@kyobun.co.jp
 購読料 2625円 (月額、税込)
 振替口座 00170-6-4369
 ©教育新聞社 2010
 週2回 月・木発行

分野を超えて 社会科 授業を 創る

玉川学園マルチメディア
 リソースセンター研究員

多賀 譲治

う。ギリギリの時間給水だっ
 たわけである。そのとき、水
 田では、農民たちが香川用水
 の完成 (昭和49年) によって
 姿を消した「走り水」や「か
 け流し」などの灌漑方式を復
 活させ、稲の枯死を必死に防
 いでいた。

「走り水」とは、田に数ミ
 リでも水が行き渡らたら即座
 りでも水が行き渡らたら即座
 りでも水が行き渡らたら即座

自らの田を犠牲として他に回
 す者も現れた。
 長い年月を経て造られた1
 万4000余のため池は上流
 の親池から子池、孫池へと水
 を流し、水系の田んぼを潤し
 てきた。すべての水路は内陸
 部で完結しているため、ため
 池の水は一滴も海に流されて
 はいかない。讃岐農民にとって

ムが高松市民を救ったといっ
 てよいだろう。
 日本は水の豊かな国だとい
 うが、それは今の姿である。
 農民の歴史は常に水との戦い
 であったといっても過言では
 ない。
 新潟県の亀田郷は豊かな穀
 倉地帯であるが、昭和32年ま
 で人々は雪解け水の泥田の中
 に肩までつかり田植えをして
 いた。亀田郷だけではなく新
 潟平野そのものが、かつては
 巨大な潟湖であり、信濃川、
 阿賀野川をはじめとする大小
 約100本の川がここに集中
 していた。新潟平野の歴史は
 乾田化への人々の壮絶な戦い
 ともいえる。

地域学習は社会科の大切な
 部分である。そこで、今回は
 稲作にまつわる話を紹介しな
 がら、教材を作る上で最も大
 切な教師の興味・視点という
 ことについて考えてみた。
 高松気象台が始まって以来
 という平成6年の大干ばつ
 は、市民生活に「お風呂に入
 りなれない」「トイレが使えな
 い」「洗濯ができない」など
 の深刻な打撃を与えた。
 6月に開始された給水制限
 は4カ月間に及び、7月から
 は1日わずか5時間の給水に
 なってしまった。3時間給水
 になれば水道圧が下がり、市
 内半分の地域が断水してしま
 う。区役員の中には給水を止め、

に水を止める給水方法で、
 「かけ流し」は、走り水で溜
 まったごくわずかな水も次の
 田に流してしまうという究極
 の灌漑である。それでもな
 お、水は決定的に不足し、地

「水の一滴は血の一滴」なの
 である。
 この時、香川用水を管理す
 る土地改良区は比較的余裕の
 あるところから、複雑な水路
 を経由して枯死寸前の地域に
 融通した。その上で、貴重な
 水を高松市の上水道に分水し
 たのだった。数百年も前に祖
 先が作り上げた水利のシステ

ムが高松市民を救ったといっ
 てよいだろう。
 日本は水の豊かな国だとい
 うが、それは今の姿である。
 農民の歴史は常に水との戦い
 であったといっても過言では
 ない。
 新潟県の亀田郷は豊かな穀
 倉地帯であるが、昭和32年ま
 で人々は雪解け水の泥田の中
 に肩までつかり田植えをして
 いた。亀田郷だけではなく新
 潟平野そのものが、かつては
 巨大な潟湖であり、信濃川、
 阿賀野川をはじめとする大小
 約100本の川がここに集中
 していた。新潟平野の歴史は
 乾田化への人々の壮絶な戦い
 ともいえる。

新しい視線を持つことで、子ども
 の心に興味のタネは播かれ

足もとから始める教材づくり

新しい視線を持つことで、子ども
 の心に興味のタネは播かれ